

山陰道（小浜～田万川）の計画段階評価に関する市長コメント

●概 要

本日、国土交通省中国地方整備局は「社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会」を広島市において開催された。小委員会においては山陰道（小浜～田万川間）の計画段階評価が議題となった。

小委員会では、山陰道（小浜～田万川間）については、別線バイパスで結んだ案が優位であると評価された。

【参考・益田以西の山陰道について】

益田以西の山陰道については、益田市から萩市、長門市を經由し下関市で中国道に接続、全国の高速道路ネットワークの一部を形成する重要な路線となる。

鳥取県から山口県までの山陰道の全線が開通することで「山陰と九州経済圏が直結することによる経済活性化」「多発する災害に対し、地域の避難や復興支援に資する道路として、また全国の道路ネットワークの寸断を防ぐ代替道路」など、多くの効果が見込まれる。

●市長コメント

今回の小委員会では、山陰道（小浜～田万川間）については、小浜～田万川間を別線バイパスで結んだ案が優位であると評価されました。市といたしましても産業・観光面において大きな優位性があると考えており、山陰道（小浜～田万川間）の整備に向け大きく前進したことを大変うれしく思っています。

地域の皆さまにはアンケート調査でご協力いただいたことに改めて感謝申し上げます。

この益田から萩までの間の山陰道は、世界遺産を擁し多くの観光客が来られる萩市と益田市を結ぶ路線であり、萩・石見空港の一層の活性化につながると強く期待しています。

また九州経済圏へのアクセス性が向上することで、石見臨空ファクトリーパークなど企業立地促進への大きな追い風となります。

そのほか、救急搬送の速達性の向上や災害時のネットワーク確保、走行時の安全性の向上など地域の活性化・安全安心に資する多くの効果が見込まれる大変重要な区間です。

引き続き、この区間が一日も早く事業化され早期に開通するよう、市としても全力で取り組んでまいります。